

林政 隔週刊

ニュース

RINSEI NEWS

平成29(2017)年3月22日(水)

第553号

隔週水曜日発行

平成6年6月9日第三種郵便物認可



森と木と人のつながりを考える
(株)日本林業調査会

発行所 〒160-0004 東京都新宿区四谷2丁目8番地
岡本ビル405

TEL (03)6457-8381

FAX (03)6457-8382

取引銀行 三井住友銀行飯田橋支店(普)810522

郵便振替 00160-8-98120

発行人 辻 潔

年間購読料15,000円(1部800円、消費税別) (禁無断転載)
電子版(PDF、1部800円)も販売しています。

再生紙を使っています。
インターネット・ホームページ <http://www.j-fic.com/>

■ニュース・フラッシュ

- ・市町村主体の「新たな森林整備対策」案を示す
- ・国際大会目指し、ウッドレガシー推進議連発足
- ・ファッションの合同展示会「rooms」に国産材製品
- ・元東北局長の矢部氏が「森林鉄道」で博士号取得

■国有林の成長資源・広葉樹を活かす！(上)

全樹種で蓄積量が増加中、自給率アップは可能か

■遠藤日雄のルポ&対論

「エコアコールウッド」で需要創造！九州木材工業

■地方のトピックニュース

石巻市で塗装型枠合板を製造、西北プライ+双日
現場報告 発電チップを船で届ける下北王子林産
岡山県産ヒノキのPR動画制作、韓国語でも発信
佐賀県庁の面談室を木でリノベ、デザイナー監修
ユニーク商品 マグネットがくっつく「ピタバン」
京都市が建築建材展に初出展、北山スギアピール

■連載ルポ 首都の「市売」は生き残れるか③

豊富な品揃えで「顧客」増やす東京中央木材市場

3

7

10

14

20



青森県の下北半島が発電用燃料チップの供給基地として存在感を増してきている。むつ市の大湊港からは、船でチップが定期的を送り出されている。(関連記事p15参照)

遠藤日雄のルポ & 対論

エコアコールウッドで需要創造！九州木材工業



角博・九州木材工業代表取締役社長

た。まず、どのような製品なのか教えて欲しい。

角社長 弊社と福岡県工業技術センター、九州大学の産・官・学連携プロジェクトによって開発・実用化した保存処理木材のことだ。木材に低分子フェノール樹脂を加圧注入し、3〜6か月間の養生を経た後に高温

遠藤理事長 最近、エコアコールウッドの名を耳にする機会が増えた。まず、どのような製品なのか教えて欲しい。

角社長 弊社と福岡県工業技術センター、九州大学の産・官・学連携プロジェクトによって開発・実用化した保存処理木材のことだ。木材に低分子フェノール樹脂を加圧注入し、3〜6か月間の養生を経た後に高温

同社に着いた遠藤理事長を笑顔で迎えたのは、エコアコールウッドの開発・普及を主導している角博社長。堂々たる体躯の持ち主である角社長は、九州の名門校・福岡県立筑紫丘高校から早稲田大学へ進学、在学中は早大ラグーマンとして活躍した。日本木材青壮年団体連合会長などを歴任しており、木材業界の若手ホープとして期待されている。

遠藤理事長 最近、エコアコールウッドの名を耳にする機会が増えた。まず、どのような製品なのか教えて欲しい。

●産・官・学が連携した「エコアコールウッド」が看板商品に

九州木材工業は、昭和5年に創業した木材保存メーカーのパイオニアだ。主に電柱、枕木、防霉土台などの製造を手がけ、社業を拡大してきた。しかし、電柱も枕木もコンクリートに取って代わられる中、新たな主力商品として世に送り出したのが、「エコアコールウッド」と名づけた保存処理木材だ。エコアコールウッドは、木材の欠点である割れや腐れを抑えた高い耐久性を有しており、風雨にさらされる場所でも安心して使うことができる。

●産・官・学が連携した「エコアコールウッド」が看板商品に

国産材の新たな需要先として公共建築物等の非住宅分野や土木分野が有望視されている。ただし、こうした新しいマーケットを開拓するためには、国産材がコンクリートや鉄などの競合資材に負けない「性能」を持つていことを「現場」で示す必要がある。これは口でいうほど生易しいものではないが、すでに突破口を開く新製品が登場している。その「生みの親」である九州木材工業（株）（福岡県筑後市、角博・代表取締役社長）を遠藤日雄・NP〇法人活木活木（いきいき）森ネットワーク理事長が訪ねた。

遠藤日雄のルポ & 対論

エコアコールウッドで需要創造！九州木材工業



従来の水溶性薬剤を注入した製品



エコアコールウッド

木製ガードレールに用いたエコアコールウッド（B種として平成 17 年に設置し、10 年経過した比較写真）

角 福岡県の発注により、県産スギを使った木製ガードレールを一般道と林道で延べ 3 km にわたって設置した。ダンプ（時速 30 km）と一般車（同 60 km）の車輛衝突試験を行った結果、問題なしということだ、

遠藤 エコアコールウッドが実用化しているのか。

角 住宅用のウッドデッキが最も多い。このほか、木製ルーバー（住宅の外装として使用する木製格子）や軒天（軒の裏側部分）、東屋、テーブル、ベンチ、案内板等の景観資材など、様々な用途に使われている。ガードレールにも採用されている。

遠藤 エコアコールウッドは、どのようなところに使われているのか。

●ガードレールでも高耐久性を証明、巖島神社など採用拡大



平成 17 年に開催された愛知万博のガスパビリオンに採用されたエコアコールウッド

ルウッドは非常に割れにくいので、木材の劣化を防げるとともに、長年にわたって「木」の美しい概観を保ち続けることができる。

遠藤 エコアコールウッドの販売実績はどうなのか。

角 弊社の年間総売上高は約 26 億円だが、このうち木材加工製品が約半分を占める。その 5 割をエコアコールウッドが占めている。

乾燥で仕上げている。低分子フェノール樹脂は水溶性だが、高温処理することによって高分子化（熱硬化）し樹脂化する。平成 9 年から開発を進め、平成 13 年に商品化し、主に大手設計事務所やゼネコン、ハウスメーカー、工務店などに販売している。

遠藤 エコアコールウッドの最大のメリットは何か。

角 木材の劣化は、割れから生じる可能性が最も高い。エコアコール

遠藤日雄のルポ & 対論

エコアコールドウッドで需要創造！九州木材工業

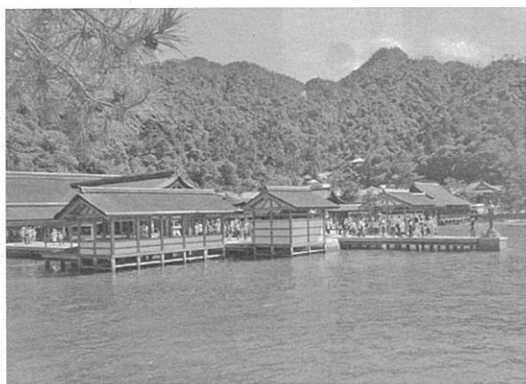
国土交通省から認定証をいただいた。

遠藤 木製ガードレールが一般道でも使えるようになったのは朗報だ。これから普及させていくための課題はなにか。

角 鉄製ガードレールと比べて3倍以上の価格になることだ。ただし、量産できればもつとコストダウンができる。

遠藤 エコアコールドウッドは、公共建築物や文化財関係への納入も多いと聞いたが。

角 最初は愛知万博のガスパビリオンで採用され、寸法の安定性と紫外線劣化の少なさが評価された。これが前例となって、採用実績が増え、代表的なものには、静岡ガス本社ビル（ヒノキ外装）、江東区豊洲シビックセンター（スギ外装）、出雲大社（国産クリの端垣・玉垣）、J R新宿ミライタワー（ヒノキ縦ルーバー材）などがある。



エコアコールドウッドが支えている厳島神社

遠藤 昨年（平成28年）10月1日に放映されたNHK番組『プラタモリ』で紹介された厳島神社社殿の杭（束柱）にもエコアコールドウッドが毎年使われていると聞いたが。

角 厳島神社は干満の差が大きい入江の中にある。木材を使うには最も過酷な環境であり、国レベルで協議を重ねた結果、ヒノキ、マツ、クスノキの国産材を使ったエコアコールドウッドが採用された。

●九州で初めて「掃除大賞」を受賞、取引先も見学者も増加

遠藤 なるほど、エコアコールドウッドの認知度が高まっていることがわかった。それに伴って会社として変わったことはあるか。

角 電柱や枕木を主力商品にしていた頃は、電力会社や電電公社、それに鉄道会社といった固定客相手のビジネスに終始していた。

しかし、エコアコールドウッドを手がけるようになって新規顧客との取引が増え、様々な業種・業態の方が視察や商談で来社するようになった。かつての工場見学者は年間40〜50名だったが、今では10倍に増えている。

遠藤日雄のルポ & 対論

エコアコールウッドで需要創造！九州木材工業



身近な場所でエコアコールウッドの耐久性試験を繰り返している

遠藤 どういうことか。
 角 例えば、シロアリ駆除に使われる薬剤には、低毒性で安全性の高いものが求められる。その一方で、駆除能力を高めようとするれば強い薬剤が必要になる。相反するニーズがある中で、現在の技術力をベースにしてどこに「最適解」を見出すのか。個々の企業と消費者の閉鎖的な「系」ではなく、関連業界はもちろんのこと、国なども巻き込んで正確な情報提供を行っていく必要があるだろう。

遠藤 最後に、エコアコールウッドをはじめとした国産材の新製品が需要を拡大していく上での課題を聞きたい。
 角 世を挙げて国産材を使う風潮になった。それ自体は大変好ましいことだが、木材の保存加工技術によってどこまでの性能が担保可能なのか、現時点で「できること」と「できないこと」をユーザーへきちんと説明していくことが必要だろう。

●性能に関する正確な説明重ね、技術力に応じた「最適解」へ

遠藤 ここに着いてまず驚いたのは、ゴミ1つ落ちていない行き届いた清掃と社員の礼儀正しさだ。皆一旦立ち止まり帽子やヘルメットをとって深々と挨拶をするし、自転車で移動している社員は自転車から降りて頭を下げる。「ルポ&対論」を開始して11年目に入ったがこんな会社は初めてだ。
 角 長野県で寒天加工会社の伊那食品工業(株)を経営している塚越寛会長の著書を読んで感銘し、直接会長から教えを乞うた。同社は毎朝の掃除を通じて社員の意識向上に努め、着実に業績を伸ばしている。「売上や利益の大きさよりも会社が常に輝きながら永続する」という社是に大いに感銘し、弊社でもそれを実行している。
 光栄なことに、日本そうじ協会が主催する「掃除大賞2017」で、弊社が九州では初めて、木材業界でも初めて「掃除大賞」を受賞することができた。これを励みにして、社内環境の整備にさらに邁進したい。